

## AUTOBACS SUPER GT Round4 ツインリンク茂木 RACE





## <公式練習 / 19位>

第3戦鈴鹿が行われる予定でしたが、コロナの影響で8月に延期されたことで、今回2ヶ月 ぶりのレースとなりました。その間に1度菅生テストもあり、タイヤもそこで良かった物を 今回茂木に持ち込みました。練習走行では、まずタイヤを確認していきますが、走り始め からマシンのフィーリングが悪く、ポジションは19番手。今回持ち込んだタイヤは、2戦目 と比べ、トラクション方向が強く、茂木には最適であろうと判断したのですが、路温が想定 異常に高く、マシン重量も昨年より重いため構造負けしてしまい、グリップを失っていました。ロールセンターなど変更を行い、予選は何とかQ1通過出来るよう、セット変更をチームに 依頼して、バネレート等も練習走行でトライをしていたので、その中から最適なバネレートであろう数値を決めて、予選に挑みます。







## <公式予選 / 7位>

Q1を担当するのは、井口選手。この厳しい状況ではありますが、井口選手なら確実に 通してくれるとチームも信じて井口選手がQ1を担当します。何とポジションは8番手! ギリギリでしたが、Q1を通過してくれたおかげで、Q2に挑む事が出来ました。 マシンのフィーリングは、午前中より改善しており、良い方向には進めているが、 アンダーステアが強いと井口選手のコメントもあり、フロントの旋回を良くする方向でセット アップをより取り入れていきます。Q2を担当するのは、自分(山内英輝)です。 マシンのフィーリングも練習走行より良くなっていたが、少しアンダーステアも強く、 ポジションは7番手。朝の練習走行から比べると、かなり改善されており、何とかポイントを 持ち帰れるポジションにまで戻すことが出来ました。明日は更にマシンの改善を行い、 より良いレースが出来るように頑張りたいと思います。







## <決勝 / 11位>

決勝スタートを担当するのは、自分です。まずは抜きにくい茂木なので、スタートで1台でも多く抜きたい所。スタートに狙いを定めていきましたが、想像以上に自分のペースが遅く、むしろ後ろから来るポルシェを抑えるので精一杯でした。

攻めるレースではなく、完全に守るレース展開になっていき、非常に厳しい状況でした。 路温も昨日より上がっており、スタートタイヤはソフトタイヤのために、タイヤのムービング も多く、その影響でタイヤもオーバーヒートしてしまい、落ちていく一方。更に左前後の タイヤもグリップダウンが大きく、ミニマムラップで井口選手と交代する事をチームに依頼。 19ラップまで何とか粘りましたが、結果ポジションは12番手まで落としてしまいます。 セカンドスティントの井口選手は、ハード側のタイヤを選択します。戻って自分のタイヤ 状況を見てみると完全にブローしており、タイヤの表面は剥がれている状況でした。







路温で、ここまで苦しい状況に追い込まれるとは、全く想像できませんでした。 交代後、前のクラッシュやトラブルなどもあり、ポジションは9番手を走行。 そこから井口選手も奮闘しますが、最終的に12番手までポジションを落としてしまい、 ポイント獲得する事が出来ませんでした。今回マシンのセットアップも持込みからハマらず、 タイヤ選択も良い方向に進みませんでした。反省点が多く残るレースとなってしまい ましたが、今回持ち込んだタイヤも路面温度からくる影響で、テストの時の様な良い フィーリングとは全く違いましたが、寒い時期になってくると、また変わってくるので、そこも 見極めながら今後もテストで確認していきたいと思います。この状況何がよくなかったのか、 しっかり判断して次戦の鈴鹿に活かせるようにしていきたいと思います。次戦得意の鈴鹿 は必ず勝ちにいきます。集中して鈴鹿に挑みます。またご声援よろしくお願い致します。



